

お父さん応援出張講座 in YSK e-com

参加者の声です！

を開催しました



子どもとの接し方を考え直すきっかけとなりました。

身近な問題を分かりやすく説明していただき、お父さんとして考えさせられました。

先生のお話はとても参考になりました。つい「だめ」と言ってしまうのですが、今日から「いいよ」と多く言うように実践したいと思います。



私の長男が小さな反抗期を迎えています。私は対応に悩みはないですが、妻が悩みをもっています。本日の受講内容を家庭内で共有したいと思います。



私は、1歳半の子どもが1人います。最近、自我も出てきたようで、色々なことに挑戦しています。父親として、まずは挑戦できる環境を作ってあげたいと思います。子どもとの信頼関係をつくっていけるよう、頑張ります。



* 講座より

「人間的なふれあいをたくさんさせてあげましょう」



「今の子どもたちは、1日にどれぐらいの人とふれあっているのでしょうか？」

川邊先生は、今の子どもたちが抱えている諸問題を例に挙げ、「今の子どもたちは、いえ、今の日本は、対人関係が上手く築けない、気持ちや行動のコントロールが上手くできない人が多い。」と私たちが抱える課題について、分かりやすくお話をしてくださいました。

その上で、子育ての終点を「子どもが一人で社会に出て生きていけるだけの力がついたとき、いわゆる自立できたとき、子育てが終わるのです。」と、『自立』というキーワードを投げかけてくださいました。

その後、『自立』できる子どもに育てるには、何が必要なのか、脳科学の観点も交えながら、わかりやすくお話をしてくださいました。

その内容を下記にまとめましたので、参考にしてください。

☆ 「ほめる」ことの大切さ

- ・ ほめてくり返すことによる効果
- ・ 自己肯定感を高くする。

(自分を好きになる) → 自信をもつ いろいろなことに挑戦するようになる

☆ 人間的なふれあいの大切さ

- ・ **目と目を合わせる**ことで、ドーパミンが出て、子どもは安心することができる。
(茂木健一郎先生のお話を紹介した上で、「脳は心の臓器」とお話ししてくださいました)

☆ 「しつけ」とは？

- ・ 「しつけ」とは、セルフコントロールを身につけさせること。
- ・ 叱るのではなく、**くり返し教えて待つ**。

「今すぐできなくてもいいんだよ」と声をかけてあげましょう。

- ・ 子どものしたいことにNGばかり出すのではなく、OKを出すことで自主性が育つ。

☆ 小さな子どもにとって大切なことは・・・

- ・ **好奇心のままに**いろいろな体験をさせてあげること。
- ・ **五感で感じられる遊び**をさせてあげること。
- ・ 痛い、嬉しい、悲しいなどの**感情を素直に表現**させてあげること。

(「痛いね」「うれしいね」と大人が言葉で伝えることによって、子どもとの心のやりとりができ、言葉の獲得をすることができる。)

人間的なふれあいを大切にしていましょ